サカキカズラ（キョウチクトウ 科）　　**兵庫県：Cランク**

Anodendron affine (Hook. Et Arn.) Druce　　**環境省：－**

種の概要

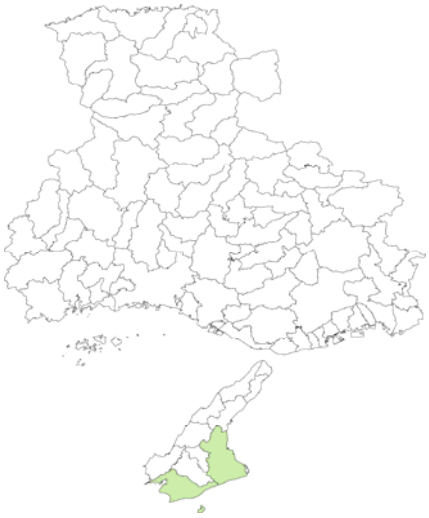
常緑の藤本で、他物に巻きつき、太いものは茎が径5cmに達する。全株無毛で、枝はやや紫色をおびる。葉は狭長楕円形、革質で長さ5-10(-14)cm、幅1-3cm、側脈は7-8対あるが不明瞭。葉柄は長さ1-1.5cmになる。4-6月ごろ、円錐状の花序を枝先につけて、淡黄色の花を密につける。苞や小苞は3角形で鋭頭。萼は長さ約3mm、5深裂し、裂片は鋭頭。花冠は5裂して平開し、径8-10mm、裂片は狭長楕円形、筒部とほぼ同長、内面には筒の内部とともに白色の短毛がある。

国内分布

本州（千葉県以西）、四国、九州、沖縄

県内分布

洲本市、南淡町



選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
						○

特記事項

特になし

保護上の留意点

生育地の保全